



椋山 久美 (ヴァイオリン)

Kumi Sugiyama
Violin

浜松市生まれ。東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学、同大学院に学ぶ。海野義雄、浦川宣也各教授に師事。

学部卒業時、宮中桃華楽堂における皇后陛下御前演奏者に選ばれる。ウィーン国立音楽大学に留学。名誉教授フランツ・サモヒル氏に師事。ウィーン国立音楽大学主催ソリストコンクールにおいて、審査員全員一致で第1位・大賞受賞。ウィーン楽友協会大ホールにデビュー。ヴァツラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール（H. シェリング記念）において第2位受賞。ウィーン日本大使館の推薦により、ウィーン楽友協会ブラームス・ザールの演奏会に日本人代表として出演。ザグレブフィルハーモニーの定期演奏会にソリストとして招かれる。

帰国後、サントリーホール、ザ・シンフォニーホール、カザルスホール、浜離宮朝日ホール、アクトシティホール等、各主要都市のホールにてソロリサイタル、室内楽演奏、オーケストラとの共演を重ね、NHK、TV、NHK-FM の出演や、ヘルムート・ドイチュ氏とのデュオ、ヤマハ管楽器フェスティバルにおける世界有数の管楽器奏者との共演等、内外の著名な音楽家との室内楽演奏も盛んに行い、その薫り高い気品と洗練された表現力は、音楽の友、音楽現代等の各音楽誌で称賛されている。

第 67 回日本音楽コンクール作曲部門第1位のヴァイオリン協奏曲を演奏し、最も優れた共演者に贈られる「コンクール委員会特別賞」を受賞。2001 年「浜松市ゆかりの芸術家顕彰」「静岡県文化奨励賞」受賞。元東京藝術大学附属音楽高等学校講師。現在浜松市在住、浜松学芸高校音楽科講師。リリースした CD に、「ヴァイオリン・ソナタ」(Pf. クリストファー・ヒンターフーバー)、「牧神の午後への前奏曲」、「ウィーンの宝石箱」、「ヴォカリーズ」(いずれも Pf. 上田晴子) があり、レコード芸術誌特選盤に選ばれるなど高い評価を得ている。



金子 鈴太郎 (チェロ)

Rintaro Kaneko
Violincello

桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。

コンセール・マロニエ、国際ブラームス・コンクール、カルロ・ソリヴァ室内楽コンクールなど、国内外の数々の国際コンクールで優勝、入賞。

1999、2000 年イタリア・シエナのキジアーナ音楽祭にて、名誉ディプロマを受賞。

2004 年松方ホール音楽賞大賞受賞。2008 年 1 月のパッハ：無伴奏チェロ組曲全曲演奏会が高く評価され、音楽クリティック・クラブ奨励賞を受賞。

仙台フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、長岡京室内アンサンブル等とコンチェルトを共演。

NHK「名曲アルバム」、NHK-FM「名曲リサイタル」に出演。

ソロの他にも室内楽に意欲的に取り組み、安永徹、市野あゆみ、エンリコ・オノフリ、大山平一郎、上田晴子各氏など、世界的に活躍するアーティストと多数共演。

バロックから現代曲までの幅広いレパートリーを演奏し、これまでに日本やハンガリー、オーストリアにおいて数々の世界初演をおこなう。

2001 年ハンガリーで現代音楽グループ "shyra" を結成。

2003 年～ 2007 年 大阪交響楽団首席チェロ奏者、2007 年～ 2008 年 大阪交響楽団特別首席チェロ奏者。

現在はトウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ首席、Super Trio 3°C、ZAZA quartet、東京バロックプレーヤーズ、長岡京室内アンサンブル 各メンバーの他、サイトウ・キネン・オーケストラ等で活躍中。

2022 年 4 月より響ホール室内合奏団特別契約首席チェロ奏者。

Music Dialogue アーティスト。

ピアノ・トリオ

～パリをうたう

「一時間のクラシック」は、休憩のない一時間完結のコンサートです。

クラシック音楽に詳しくても詳しくなくても楽しんでいただけるひとときを目指し、様々な共演者とともに大切に開催してきました。

Vol.6 は、19 世紀後半のパリを軸に、フランスの音楽を紡ぐ一時間。

メインに選んだドビュッシーのピアノ三重奏曲は、10 代の学生時代に書かれ、彼の死後に楽譜が発見されました。後年の作風はまだ表れていませんが、ロマンティックな旋律や美しい色彩は味わい深く、近年人気が高まっています。

ゲストは、音楽への深い洞察と愛が聴く者の胸を打つ、気品と洗練のヴァイオリニスト・椋山久美氏と、バロックから現代曲までオールマイティの実力派、国内外で大人気のチェリスト・金子鈴太郎氏。

それぞれのソロ曲もお楽しみください。

人々がカフェや文学キャバレに集い、語らい、芸術を楽しんでいた頃のように、秋の午後の一ときを、ルーテルホールでぜひ一緒に！



大家 純子 (ピアノ)

Junko Oie
Piano

静岡県出身。国立音楽大学ピアノ専攻卒業後、モーツァルトウム音楽院（ザルツブルグ）に学ぶ。

これまでにソロ、室内楽、伴奏ピアニストとして多数のリサイタル、コンサートに出演。CD レコーディングにも参加。中でも長年傾倒してきた歌曲の分野では、関定子氏はじめ多くの声楽家と共演、トマムサマーセミナー他マスタークラスでの公式ピアニストも務める。

2017 年よりコンサートシリーズ「一時間のクラシック」を継続中。Vol.5 朗読劇「イノック・アーデン」(A.L. テニスン原作/R. シュトラウス作曲)では、オリジナルの日本語訳台本も手がけた。

女声合唱団リラ、アンサンブル煌、各常任ピアニスト。岩内在住。